

専門機関の連携による 強力なサポートを受ける

PROFILE

事業所

株式会社東急エージェンシー



■所在地／東京都港区
■事業概要
各種広告の代理業務、広告宣伝に関する企画・立案・制作等

支援機関

- 支援1 ハローワーク品川
- 支援2 横浜市立盲特別支援学校

本人

原 由美さん（女性・31歳、障害の程度：3級）
角膜炎による先天性の弱視。視力は0.03程度。視野に障害がある。

経緯と雇用状況

雇用の経緯

ヘルスキーパーの導入を検討

2007年9月から2008年2月にかけて、在職していた障害者が複数名退職することとなったため、人事局人事労務厚生担当部長の福王さんは、求人についてハローワーク品川の障害者雇用支援員に相談しました。

その際、ハローワーク品川から新たな視点で障害者雇用を検討するよう勧められたことをきっかけに、同業他社で雇用事例があることや、従業員の疲労やストレスがたまりやすい業種であることを考え、ヘルスキーパー業務を導入することにしました。

ヘルスキーパー業務に関する情報収集と職場実習の受け入れ

ヘルスキーパー業務の導入にあたっては、ハローワーク品川から紹介された横浜市立盲特別支援学校の教員から実際の受け入れに関する情報を収集しました。併せて、同校であん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の資格取得予定の原さんを、本人及び事業所の従業員がなじめるか確認のため1週間の職場実習の提案を受け入れました。職場実習では、人事をはじめ役員や他部署の従業員、計25名がマッサージを体験し、そのアンケートの結果、本人と事業所の双方が好感度であったため、原さんのヘルスキーパーとしての雇用が決まりました。

マッサージルームの開設

原さんを内定した後、マッサージルームを設置するスペースやベッド等の備品に関する知識を得るため先行事業所を見学したほか、東急エージェンシーの保健師が知っているヘルスキーパーからアドバイスを聞かせてもらいながら、原さんや横浜市立盲特別支援学校の教員との相談によりマッサージルーム開設の準備を進めました。

現在の雇用状況

原 由美さんの雇用状況	
雇用形態	嘱託社員（2009年4月～）
勤務時間	10：00～18：00
勤務内容	1回40分・1日6人分のマッサージ及びはりの施術

施術希望者は、各自のパソコンで会社が作成した予約システムから直接予約を行います。このシステムのおかげで原さんは希望者の予約状況をいつでも確認することができます。

予約者は、事前に人事で代金を支払うことで施術を受ける従業員を人事でも確認するようにしています。また、毎朝、厚生担当者がその日の予約状況をイントラネット上で告知しており、導入約2年で稼働率はほぼ100%となっています。



▲マッサージをする原さん

就労支援機器 & 支援制度

活用した就労支援機器

- 拡大読書器
- 画面読み上げソフト
- 画面拡大ソフト

高齢・障害者雇用支援機構による就労支援機器貸出し制度を活用し、試用ののち購入。予約システムの運用やカルテ管理に使用している。

(P46「就労支援機器の機能と使用事例」参照)

予約システムを活用して予約状況を確認▶



支援の内容 1

支援機関
ハローワーク品川

従来とは異なった職務の雇用を提案し 障害者雇用の幅を拡大



● ハローワークとは？

ハローワーク（公共職業安定所）は、職業紹介、職業指導等の業務を行うため国が設置する機関です。全国約500カ所に設置されており、就職を希望する障害者の求職登録を行い、専門職員等が地域の関係機関と連携しながら、障害の種類や程度に応じたきめ細かな職業指導、職業紹介、職場定着支援、事業主支援等を行っています。

事業主へ

- 求職者紹介
- 雇用相談
- 事業主支援

など

ハローワーク
(公共職業安定所)

求職者へ

- 求職登録
- 職業指導
- 職業紹介
- 職場定着支援

など



▲事業主相談コーナー

● ヘルスキーパー業務導入の提案と情報提供

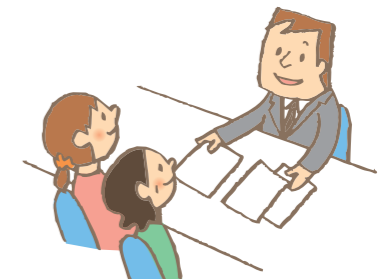
事務業務で勤務する肢体不自由者を数多く雇用している東急エージェンシーにおいては、退職した障害者の後任について、同業他社で導入事例があることや、従業員の疲労やストレスがたまりやすい業種特性からヘルスキーパーの導入について検討を行いました。

このことについて、福王さんから相談を受けた障害者雇用支援員の岡田さんは、導入スケジュールや、就労支援機器貸出し制度、障害者雇用納付金に基づく助成金等、ヘルスキーパー業務の導入及び運営にあたっての必要な情報や留意点を詳細に説明しました。

併せて、ヘルスキーパー業務の求人について相談を受けていた横浜市立盲特別支援学校を福王さんに紹介しました。

ハローワーク品川の支援の内容

- 開設スケジュールの提示
- ヘルスキーパー設置における費用の説明
- 助成金・就労支援機器の紹介
- ヘルスキーパーを導入した企業事例の紹介



● フォローアップ

原さんが東急エージェンシーに採用された後は、常に厚生担当者と連絡を取り合っています。福王さんとも定期的に状況を確認しており、2年目からは原さんの希望もあり、マッサージに加え鍼灸を加える等、施術内容も充実しています。

就労支援機器 & 支援制度

活用した支援制度

- 障害者雇用納付金制度に基づく助成金（高齢・障害者雇用支援機構）

マッサージルーム開設、就労支援機器購入に活用



▲マッサージルーム

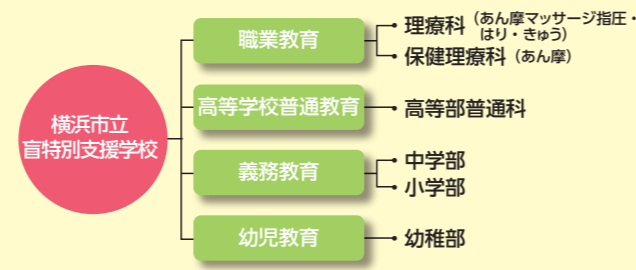
2 支援の内容

支援機関
横浜市立盲特別支援学校

職務と職場のイメージを把握するため 職場実習を支援



●横浜市立盲特別支援学校
1888年に鍼灸揉按医術講習学校として視覚障害者に対し西洋医学の講義を開始、1950年に横浜市に移管、横浜市立盲学校として小学部、中学部、高等部を設置し現在に至っています。
目が見えにくかったり、見えないために特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒に対し、幼児教育・義務教育・高等学校普通教育及び職業教育（あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう）を行っています。
高等部専攻科（保健理療科、理療科）は、大学の入学資格を有する視覚障害者が理療・保健理療に関する知識・技能を修得するために設置され、保健理療科はあん摩マッサージ指圧師の国家試験受験資格を、理療科はあん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の国家試験受験資格を得ることができます。



●ヘルスキーパー業務導入に向けた アドバイスと職場実習の提案

ハローワーク品川の岡田支援員からの依頼を受け、2008年5月に鈴木先生、土屋先生、磯先生が福王さんに対し、最初はヘルスキーパー業務の概要について説明しました。その後もヘルスキーパー業務の導入にあたって必要な知識や情報について適宜アドバイスすることで、福王さんもヘルスキーパー業務を導入するメリットや効果、導入に大きな負担がかからないこと、学校からサポートが得られること等を理解して、準備を進めていくことができました。
また、東急エージェンシーへ紹介する求職者については、学校で検討した結果、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の資格取得に取り組んでいる原さんを紹介することが適切と判断し、東急エージェンシーの求人について情報提供したところ、原さんからも希望がありました。
6月に福王さんが採用に必要な情報を収集するため学校訪問をされた際に、求職者が職場や業務に馴染むことができるか確認するため、夏休み期間に1週間の職場実習を提案しました。

●職場実習中の支援

1週間の職場実習は、白衣やシーツ等学校が用意した物品を使って、事業所内に仮のマッサージスペースを設置し、理療の資格を持つ教員の立ち合いのもとで、人事をはじめ役員や他部署の従業員、計25名に対してマッサージを行いました。
協力いただいた役員や従業員からのアンケートの結果では職場からの感触も良く、原さんの意欲と自信も確認できたため、原さんをヘルスキーパーとして採用いただく筋道ことができました。

●マッサージルーム開設に向けたアドバイス

勤務開始となる2009年4月までの期間、教員からマッサージルーム開設に必要なスペースや備品について、開設準備チーム（福王さんと複数の厚生担当で構成）に数回のアドバイスをを行いました。さらに、拡大読書器や画面読み上げソフト、画面拡大ソフトの購入にあたっては、機器の選定のアドバイスや、独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構が行う就労支援機器貸出し制度、障害者雇用納付金制度に基づく助成金を紹介しました。



●フォローアップ

フォローアップについては、原さんや福王さんから相談があればハローワーク品川と連携し対応することとしています。現在、原さんははり施術にも取り組んでいますが、施術を開始するにあたっては、消毒設備等必要な備品等についてアドバイスをを行いました。

●ハローワークとの連携

学校のある横浜にとどまらず、東京都内のハローワークとの関係づくりに努めています。事業所がヘルスキーパー業務を導入することを検討する等の動きを把握した場合は、その情報を管轄のハローワークへ連絡し、またハローワークにヘルスキーパー業務の導入に関する問い合わせがあった場合には、学校を紹介してもらうようにしています。

*インタビュー

適切な助言で、円滑な業務の導入が可能になりました。



人事局人事労務厚生担当 担当部長 福王弘道さん

ヘルスキーパー導入にあたり、ハローワーク品川から迅速かつ適正な情報提供と、横浜市立盲特別支援学校という良い学校を紹介していただきました。
その結果、最適な人材をご紹介いただくとともに、開設時に必要な設備等について具体的に細部にいたるまでアドバイスいただき、比較的円滑にヘルスキーパー室を開設することができました。開設後、社内の評判もよく、導入してよかったと思っています。

先生方の丁寧なアドバイスが職場の理解につながりました。



原由美さん

横浜市立盲特別支援学校に対しては、職場実習の機会を作っていただいたことや、マッサージルームに必要な物のリスト作りにもアドバイス等してもらい、スムーズに職場に説明することができました。
現在、職場で新たにはり施術をはじめました！

支援経緯早見表

関係者	事業所	支援機関		本人
時期	株式会社東急エージェンシー	① ハローワーク品川	② 横浜市立盲特別支援学校	原由美さん
ニーズ	退職した障害者雇用の補充をしたい			卒業後はヘルスキーパーとして働きたい
雇用前	ヘルスキーパーの雇用を検討	相談 視覚障害者雇用を推奨	相談	
	ヘルスキーパーに関する情報の収集	・ヘルスキーパーの説明 ・支援制度の紹介 ・運営についての助言 ・先行事業所の例示		
職場実習	ヘルスキーパーに関する情報の収集	事業所への助言を依頼	雇用へのアドバイス	・業務の説明・助言 ・原さんを紹介 ・職場実習実施を依頼
	職場実習の受け入れ		実施への支援・アドバイス	職場実習への参加
採用決定				
雇用準備期	マッサージルーム開設の準備		相談 開設への支援 ・就労支援機器購入への助言	
雇用後	施術希望者の増加	フォローアップ ・2~3ヵ月毎に雇用状況を確認	はり施術への助言	マッサージの他、はり施術を開始

支援のコーディネートを担った機関 ← コーディネートの内容 ← 経緯

支援のポイントと評価

- 事業所のヘルスキーパーという新たな要望に対し、ハローワークにおいて迅速かつ適切に情報提供を行ったこと。また導入にあたって特別支援学校（盲学校）と連携し、業務運営や支援制度の活用について具体的なアドバイスをを行うことで、事業所の導入に対する不安や負担を軽減することができたこと。
- 職場実習により、事業所が求職者の職務や職場環境への適応の見通しを事前に把握することができたこと。また理療の専門知識を持つ教員が実習場面に立ち会うことで、その場で必要な知識や情報、また課題が生じた場合には具体的な対応策が提供できるサポートができたこと。